

平成 24 年 2 月 16 日

久茂地公民館・図書館（旧沖縄少年会館）解体工事費用の 再審議を求める陳情書

那覇市議会
議長 永山 盛廣様

陳情主旨

私たち「新沖縄子どもを守る会」は久茂地公民館・図書館（旧沖縄少年会館）解体工事費用の再審議を強く求めます。昨年 9 月に市議会で承認された解体費用に関して不可解な点があることや、賛成討論を行った渡久地政作議員の発言にある、地域住民の安全性を求める声や耐震改修費用算定の根拠等が情報公開請求開示によって杜撰なものであることが明確になったことから、住民監査請求を行い 2 月 3 日付けで受理されました。

陳情理由

昨年 9 月の那覇市議会での解体費用可決後、「沖縄少年会館建設趣意書」が発見されたことから、県内の子ども支援団体と連携を組み、旧沖縄少年会館を耐震補強や改修を自前で行い、ワンストップで子どもに関する問題が扱える拠点となる建物に復活させることで合意し、準備を進めながら賛同者を募り、今年 1 月「新沖縄子どもを守る会」を設立いたしました。

一方、那覇市教育委員会は、私たち市民の度重なる要望に対し全く聞く耳を持たず、去る 2 月 8 日解体工事入札を行い、落札業者を決めました。財政難をいう那覇市において、はたして落札率 90 パーセントの約 3700 万円という公金を支出し、緊急に解体すべき建物でしょうか。先ごろ、那覇市内の幼稚園・小学校・中学校校舎の劣化を調査し、うち約 10 校で柱の鉄筋がむき出しになるなど、一刻も早く対処しなければ子どもの命に関わる危険性の高い建物が見つかりました。旧少年会館解体へ充てる公金を、これら「主要構造物の爆裂があり、明らかに危険な校舎」の応急処置費用に充て、改築までの子どもたちの安全を確保して欲しいと緊急要望書を提出いたしました。

また、私たちは譲渡後の具体的な活用方策検討や耐震改修費用について金融機関との間で交渉を始めており、全国からの募金と併せ、子ども支援のモデルケースとなる具体的なプランを準備しております。

以上の理由から、文化的・歴史的な価値を有する旧沖縄少年会館の解体工事を取り止め、将来に禍根をのこすことのないよう慎重な判断をくださるための再審議を心より陳情いたします。

新沖縄子どもを守る会 会長 加藤 彰彦